

よしみ まがいかい



さくら堤 入学式



吉見中吹奏楽部 未来に響け



今日から小学1年生だよ



大きく羽ばたけ



新鮮野菜を全力応援

8号

2025.5

No.175

7年3月定例会

※画像の転載、複製、改変等は
禁止いたします。

にぎやかな吉見の春

- 令和7年度予算ここをチェック・・・ P2～7
- 8名が討論 小中学校設置条例・・・ P8～9
- 審議の結果は・・・・・・・・・・・・・・ P14
- 町の考えを問う 一般質問9名・・・ P15～20
- 新企画 クローズアップよしみ・・・・・・ P21

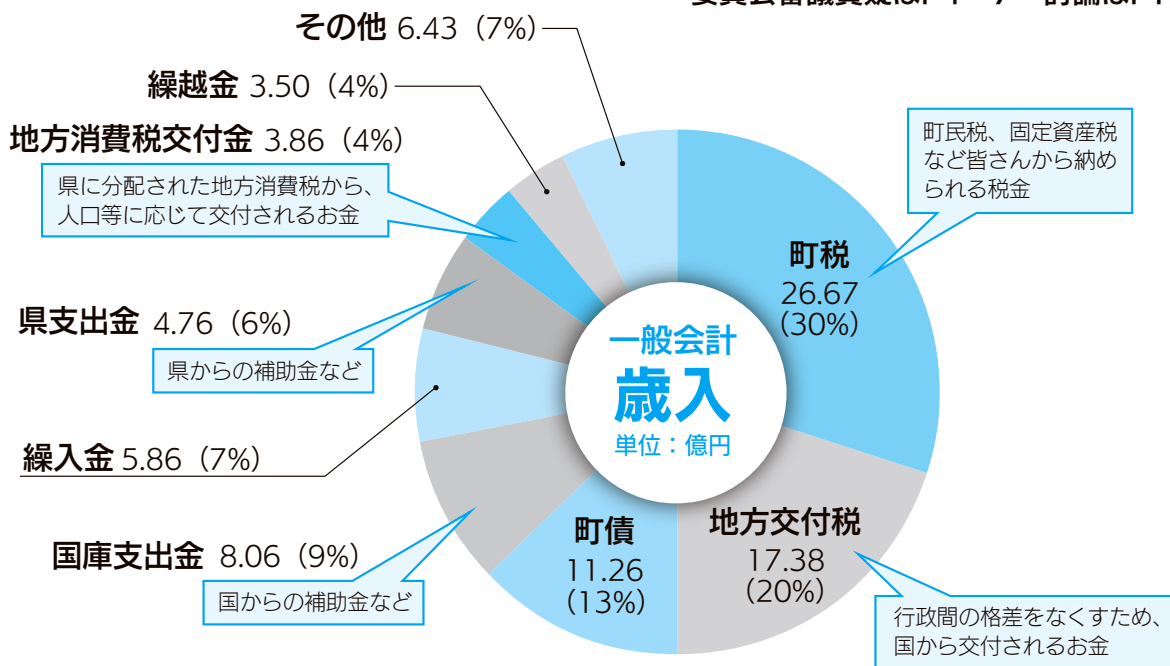
令和7年度

予算始動 新たな

令和7年度予算原案可決

3月定例会は、2月27日から3月19日までの21日間の会期で行われました。
令和7年度の各会計予算、令和6年度各会計補正予算、条例改正、人事案件など24議案が上程されました。議案については、全議案が原案のとおり可決、同意されました。

委員会審議質疑はP4～7 討論はP13



ここをチェック！

令和7年度に実施する主な事業をピックアップ



「こどもまんなか社会」

実現に向けて

こどもを安心して産み育てる環境へ

▶子育て支援課

不妊や不育症検査への助成、予防接種の普及啓発、産婦検診の助成回数を拡充し、乳幼児健診では新たに1か月児と5歳児を対象に加えます。

保護者がリフレッシュできるように

▶子育て支援課

こども家庭センターでの一時保育事業「リフレッシュ保育サービス」は、保護者の心身共に負担軽減を図るため、一時保育事業の拡充に努めていきます。



教育環境をさらに充実へ

小学校統合再編の実施設計

▶教育総務課

令和10年4月開校に向け、統合小学校の設計業務を進めると同時に、中学校旧校舎等の解体工事を実施します。



水道料金への補助

町民や事業者へ緊急支援策

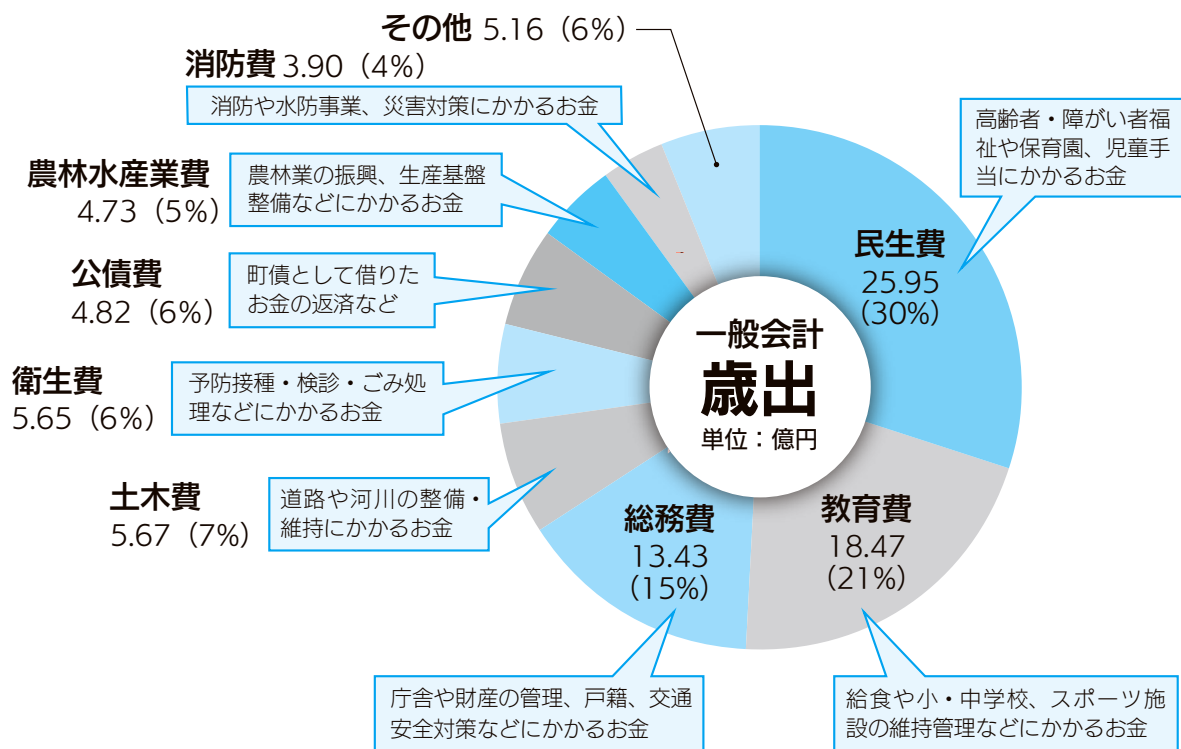
▶総合政策課

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金およびふるさと納税基金を活用し、水道料金の基本料金4か月分の補助を行います。

事業も 一般会計当初予算額 87億7800万円

前年度比14億5000万円 19.1%増

予算
審議



避難所の環境整備

体育館に空調設備導入

▶生涯学習課、教育総務課

避難所としても使われる町民体育館、B & G海洋センター体育館、吉見中学校体育館にふく射パネル(左)、エアコン(右)の空調設備を設置します。アリーナの人がいる空間を冷し、風の影響は少ないです。



暑い夏でも快適に



誰ひとり取り残さない社会へ

災害対応力の底上げ

▶総務課

内水氾濫の軽減を目的に準用河川横見川の整備、防災力の強化を目的に民間事業者との災害協定締結、自主防災組織の育成支援を目的に各種訓練に取り組みます。

誰もが暮らしやすく

▶町民健康課、長寿福祉課

带状疱疹ワクチン予防接種の助成を拡充し、保険と介護の安定的な制度運営に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。

物価高騰対策として 水道基本料金4か月分を補助



総務建設常任委員会 予算審議報告

杉田しのぶ 委員長

令和7年度吉見町一般会計予算のうち、議会事務局、総務課、自治財政課、総合政策課、産業振興課、農業委員会事務局、税務会計課、まち整備課が所管する予算について、主な審議内容を報告します。

Q 水道事業会計基本料金減免事業費補助金 の内容は ▶総合政策課

A 物価高騰の影響を受けた町民や事業者を広く支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及びふるさと納税基金を活用し、水道料金の基本料金4か月分の補助を行います。

■免除対象

一般家庭、事業所などの水道使用者(公官庁等除く)

■対象料金

西地区：7、9月請求分(5月～8月使用分)

東・南・北地区：8、10月請求分(6月～9月使用分)

Q 議会だより校正のペーパーレス化を ▶議会事務局

A タブレット端末等の導入は紙の削減となるだけでなく、事務の効率化につながるため、研究します。

Q 庁舎外壁改修工事の内容は ▶自治財政課

A 指定緊急避難場所として、安全性向上のため外壁打診調査の結果に基づき改修工事を行います。剥離防止効果の高いアンカーピンニングタイル直接固定工法です。

「役場庁舎は建設から40年経過し、老朽化が進んでいるため、施工後も定期的な点検に努めてほしい」と要望しました。

Q 衛星系防災行政無線施設再整備の内容は ▶総務課

A 設置から15年経過するため各機器の更新を行います。これにより大雨等の悪天候の際の通信安定性が向上し、災害時でも確実な通信機能を確保することが可能となります。

更新作業は県が行い、経費の1/2を町が負担します。

Q 町の財政運営状況は ▶自治財政課

A 令和7年度の地方債はすべて元利償還金の一部が後年度の地方交付税で措置されることとなっています。

令和5年度決算における一般会計の地方債残高約53億7千万円のうち、臨時財政対策債が約66%を占めており、この元利償還金は後年度の地方交付税で全額措置されます。

その他の地方債も交付税参入率を考慮しているため、実質の町の負担は7億円程度であり、現時点で財政の硬直化にはつながっていないと考えています。

町の令和5年度健全化判断比率等

(単位：%)

	実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
吉見町	—	—	5.6	—
早期健全化基準	14.92	19.92	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	4.3
R4県内市町村平均	—	—	5.1	

いずれの比率も健全化基準をクリアしています
一般会計、特別会計ともに赤字はありません

Q 病虫害防除協議会補助金の内容は
▶産業振興課

A 町、埼玉中央農業協同組合、埼玉県農業共済組合、埼玉県東松山農林振興センターの4団体で構成する協議会で、水稻の箱処理剤やジャンボタニシ防除への補助などを行っています。

「令和7年に被害の拡大が懸念されているイネカメムシへの対応について、協議会で有効な手法を検証し、対策に取り組んでほしい」と要望しました。

■R6年度の補助実績

水稻箱処理剤：600円／10a水田活用直接交付金（主食用米、対象102人）171万1千円
ジャンボタニシ防除：30万8600円（購入額の1／2補助、対象10人）



被害が広がっています

Q コンビニでの交付および収納の状況は
▶税務会計課

A 税証明の交付件数は、令和4年度に開始して以来、年々増加しています。

収納件数については、eL-QR（地方税統一QRコード）での納付など多様な納税方法があることから、横ばいからやや減少傾向です。

Q 生活道路整備事業の内容は
▶まち整備課

A 地域から要望や相談のあった敷砂利工事や小規模修繕工事を実施するものです。このほか、舗装が破損している箇所や見通しの悪い交差点部など緊急時の対応については職員が修繕を行い、除草やカーブミラーの角度調整なども適宜対応していきます。

Q 地域おこし協力隊・地域活性化企業人の活動内容は
▶産業振興課

A 令和7年9月からの活動を予定しています。町の地域資源を活用したコト消費による賑わい創出や関係人口・交流人口の増加を目的に制度を活用していきます。

企業や町外からの新しい視点で、町の活性化につながる活動をしていただくものです。

Q 大和田地区産業団地の企業誘致の取組は
▶産業振興課

A 県企業局が令和7年度から分譲の募集を開始する見込みとなっています。

町の取組として、多くの企業から応募をいただくため、SNS等を活用した周知に努め、よりよい企業を誘致できるよう県企業局と協議していきます。

Q ナラ枯れ被害緊急対策事業補助金の内容は
▶まち整備課

A ナラ枯れ被害の原因となる害虫の駆除および被害拡大を防止するための伐採や予防措置を支援するための県補助金です。都市公園として管理しているどんぐり山公園、憩いの森公園の樹木伐採に活用します。



ナラ枯れ被害が増えています

慎重審議の結果、産業振興課、まち整備課所管の一般会計予算は賛成多数でしたが、原案のとおり可決されました。

吉見中学校体育館への空調設備設置



文教生活常任委員会 予算審議報告

尾崎 豊 委員長

令和7年度吉見町一般会計予算のうち、本委員会が所管する町民健康課、長寿福祉課、子育て支援課、環境課、水生活課、教育総務課、生涯学習課が所管する予算、令和7年度特別会計の国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、水道事業、下水道事業の予算について、主な審議内容を報告します。

Q 吉見中学校体育館への空調設備設置工事は ▶教育総務課

A 授業や学校行事に影響が出ないように、工事を行いたいと考えています。

Q 体育館空調設備設置工事は ▶生涯学習課

A 財政的に有利な地方債を活用し、スポーツ活動における熱中症対策や避難所の環境整備を図っていく観点から町民体育館およびB&G体育館に空調設備を設置します。

Q 妊婦のための支援給付の内容は ▶町民健康課

A 令和7年4月から、子ども・子育て支援法等の改正に基づき、妊婦のための支援給付事業が創設されます。妊娠届出時の給付申請により、妊婦1人当たり5万円、妊娠している子ども1人当たり5万円を給付します。

Q 災害援護事業の施設使用料は ▶長寿福祉課

A 住宅火災が発生した際に、協定を締結している一時的な宿泊施設として提供するための費用です。火災発生日から15泊、1人当たり1泊6千円を上限としていましたが、物価高騰等の影響により、上限を1万円に引き上げる予定です。

Q 带状疱疹予防接種助成金の内容は ▶町民健康課

A 令和7年度から65歳の高齢者等を対象に定期接種を開始します。また、定期接種の対象とならない50歳以上の方には、ふるさと納税基金を活用し、町独自の带状疱疹任意接種助成事業を実施します。助成により、带状疱疹の発症および重症化を予防するとともに、接種機会の確保に取り組んでいきます。

带状疱疹 予防接種の助成始まる。

任意接種の方は

○対象者・令和7年度中に50歳以上となる方

※定期接種の対象の方を除く

○期間・令和7年4月1日～令和8年3月31日

※令和7年度のみ実施

○自己負担額

種類・生ワクチン(ビケン) 5000円×1回接種

・組換えワクチン(シングリックス) 18000円×2回接種

※ワクチンは2種類あり、接種方法や効果、持続期間、副反応などが異なる

○任意接種の場合

※町内医療機関(白井医院、たばた小児科、森田クリニック)



助成内容は
こちらから

Q 新たに始まる5歳児健診の内容は ▶町民健康課

A 5歳児健診は、集団検診で行い、医師や臨床心理士等により、身体発育や精神発達の状況から、こどもの特性に合わせた適切な支援につなげます。乳幼児健診を拡充することで出産から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整えていきます。



Q 吉見町ゼロカーボンシティ推進補助金の
内容は ▶環境課

A 町内の住宅に再生エネルギー設備を設置した方への補助金で令和6年度に新たに創設されたものです。

カーボンニュートラルへの取組として効果が期待できることから、令和7年度も太陽光発電設備、リチウムイオン蓄電池、エネファームを対象に支援します。

ゼロカーボンシティ推進補助金制度

対象設備	補助金額
太陽光発電システム	50,000円
エネファーム	50,000円
住宅用蓄電池	50,000円

※2設備以上設置する場合は、2設備目以降も補助対象とする。

Q 介護予防に関する実態調査委託料とは ▶長寿福祉課

A 3年に一度、町内の要介護認定者等を除くすべての65歳以上の方を対象に、健康状態や生活実態を調査し、潜在的に介護予防を必要とする方や地域の担い手となる方等を把握していきます。



「いっしょにやろうよ」介護予防体操の様子

Q 漏水調査の内容は ▶水生活課

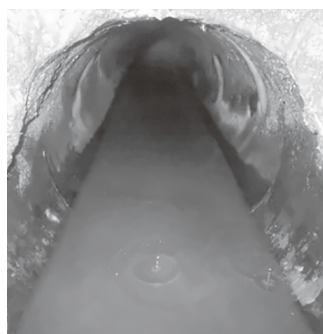
A 令和6年度に実施した水道管のAI劣化診断の結果を活用し、漏水が発生する確率が高いと判別された路線を対象に絞ることで、効率的な調査を実施します。

Q 小学校統合再編事業に係る解体工事の内容は ▶教育総務課

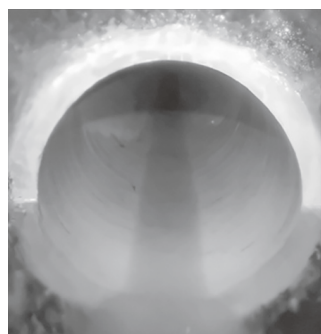
A 統合小学校の建設に先行し、旧校舎の解体を実施します。解体は、新校舎建設予定地にあるプール施設、駐輪場、次に旧校舎、最後にプレハブ校舎の順に進め、令和7年度内の完了を予定しています。

Q 汚水管管きょ改築工事の内容は ▶水生活課

A 令和4年度に実施した下水道管内のカメラ調査の結果対応が必要とされた区間の管きょ更生を実施するもので大串地内において延長120メートルの工事を予定しています。



工事前



工事後

Q 給食センターボイラー借上料の内容は ▶教育総務課

A 学校給食を適切かつ安定的に提供するため、ボイラー等の更新を行い、ランニングコストや環境への配慮等を考慮し熱源を灯油から都市ガスへ切り替える予定です。

更新にかかる費用は、年度ごとの負担の平準化を図るため、5年間のリース方式とし、リース期間満了後は、町への無償譲渡を予定しています。

慎重審議の結果、子育て支援課、教育総務課所管の一般会計予算は賛成多数でしたが、原案のとおり可決されました。

再提出の 小中学校設置条例

賛成多数
可決

主な議案の内容

※紙面の都合上、主な質疑を掲載しています。
また、議案番号順ではありません。

議案

7

6小学校を廃止

令和10年4月に吉見小学校を吉見中学校敷地内に設置

賛成
多数

問

第2条（町立小・中学校の名および所在地）を改正することは、既存の小学校6校を廃止するという意味合いを含めたものとなるのか。

答

今回の条例改正は手続き上、小学校6校を廃校にし、1校を設置するという形になっている。



大野 陽康
議員

6校を廃止するという意味合いを含めたものであるならば、地方自治法第244条の2第2項※の規定に基づいて議決すべきと考えるがいかがか。

※地方自治法244条の2第2項（一部抜粋し要約）
条例で定める重要な公の施設のうち、特に重要なものを廃止するときは、議会に出席議員の2/3以上の者の同意を得なければならない。

前回の議会で、第3条特別多数議決の削除が議決されているので、地方自治法第244条の2第2項※に基づく議決は必要ないと考えている。

教育総務課長

今回の条例改正の前に、重要な公の施設の利用または廃止に関する条例や小学校6校を廃止にする条例を審議・採決・制定してから審議すべきでは。

今回の手続きも含め、学校についての議案は法的見解をいただいた上での議案提出となっている。

町長



杉田 しのぶ
議員

施行日が令和10年4月1日となっているが、今、条例改正をする理由は。

建設予算が大規模のため早い段階で、議会の理解を得たい。国の交付金申請手続きにも必要。保護者や住民からの請願への想いを受けて提出した。

教育総務課長

反対



統合小は広い視野で

日本共産党 福田 妙子議員

町民は現在の小学校を地元の小学校として守り、子どもたちを育ててきた。今、中学校の敷地内に6校統合小学校を建設しようとしている。しかし吉見町の人々の意見は一つではなかった。子どもたち、保護者、また地域の人々の意見を学校ごとに聞き、しっかり受け止めた上での学校統合であるべき。

統合小学校の中学校敷地内への建設計画は止め、もう少し広い視野にたって考えて頂きたい。子どもたちの教育という観点から反対である。

賛成



令和10年4月開校へ

公明党 宮尾美千代議員

吉見町立小学校統合再編準備委員会において多くのご意見を伺い、情報公開、調査、検討がなされ、統合小学校の基本設計(案)がまとめられ、2月には6回の説明会を開催。小学校校舎等施設整備事業概算事業費の財源に国の補助金をうけるための申請には今議会での議決が必要。

令和10年4月の開校に向けてより良い学校にして町の自慢の学校にしていだきたい。子どもたちのために一日でも早く進めてあげてほしいとの声も多くある。

反対



住民の合意得ていない

令和の会 岩崎 勤議員

12月議会での「特別多数議決」を削除した条例改正があった。今議会、議案第7号吉見町立小中学校設置条例の一部を改正する条例が提出されている。統合小学校を中学校に入れ込むという条例改正。条例で明示されていないことが問題という質問があった。74の公共施設の位置づけをまず行ってからこの設置条例が提案されるべき。

建設に関する審議はこれからであり、住民の合意を得ていない現時点での設置条例改正案は反対。

賛成



予算編成に必要な改正

吉田 克之議員

12月議会の答弁の中で、町では重要な公の施設を指定していないが、町の公共施設はすべて重要な公の施設であるとの内容が示された。

今回の統合再編は、小学校統合再編準備委員会で大勢の意見を聞きながら検討を重ね、基本構想、基本計画を策定したもの。

基本設計の概要も示され、住民説明会も開催された。そして議員の全員協議会では重要な事業費の説明があり、設置条例は今後の予算編成に必要なもの。

賛成



歩みを着実に進めて

福井 学議員

一年前の3月議会で同案は一度否決されたものの、6月議会では計画どおりの開校を求める町民から提出された請願の審議、12月議会では特別多数議決条項を削除する条例案の審議、今年2月には基本設計案を用いた住民説明会が開かれ、今議会では建設費の概要も公表された。一年かかったが、一年かけたことで理解が深まった。

多くの保護者は令和10年4月に開校するものと認識しており、歩みを止めることなく着実に進めるべき。

賛成



老朽化した校舎の現状

伊藤 えりか議員

町内にあるすべての校舎は、いずれの学校も増改築を行いながら現在の規模になったもので、最も古い校舎は建築から59年経っており、多くの校舎が昭和40年代から50年代に建築され、老朽化が認められている。これまで耐震補強工事をはじめ、必要に応じて修繕等を行ってきた。

どの学校でも大規模改修が必要な状況に変わらないことを踏まえ、吉見町立小学校統合再編計画に関して賛成の立場で注視してきた。

賛成



最高の施設での学びを

尾崎 豊議員

町内6小学校は、各学年ともクラス替えない単学級。人口減少が進む中では6校から1校への統合は時代に合わせた大切な取組。

学校施設は児童・生徒の教育活動の場であり公教育を支える基本的な施設。

教育は社会に出るための準備であり、大勢の子どもたちの中でさまざまな経験をすることが大切。最高の施設の中で一日も早く学んでほしいと思い賛成する。

賛成



予定通り実現のため

杉田 しのぶ議員

令和8年度から予定している建設工事に伴う国への交付金申請にも必要な条例改正。

中学校も近い将来、建て替えやリフォームが必要な時期に来る。新しい小学校は、中学校の建て替えやリフォームの際にも活用でき、今、小学校を建設することは先行投資という考え方もできる。

保護者や教員の意見を基に具体化した小学校統合を令和10年4月1日から予定どおり実現するために、本条例に賛成。

議案 5

- ・国民健康保険税の引き上げ
- ・所得が少ない世帯・未就学児の軽減税額の引き上げ

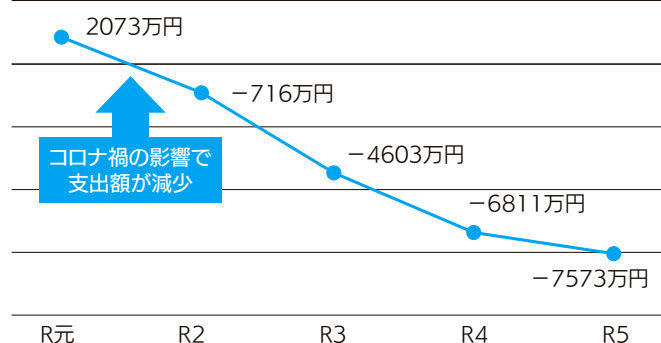
賛成
多数

議案
審議

		現行	改定後	増減	備考
基礎課税 (医療分)	所得割額	6.8%	7.5%	0.7%	
	均等割額	21,500円	31,500円	10,000円	
後期高齢者支援金 等課税額	所得割額	2.5%	2.8%	0.3%	
	均等割額	12,500円	14,000円	1,500円	
介護納付金 課税額	所得割額	2.0%	2.3%	0.3%	40歳から 64歳まで
	均等割額	12,000円	14,500円	2,500円	

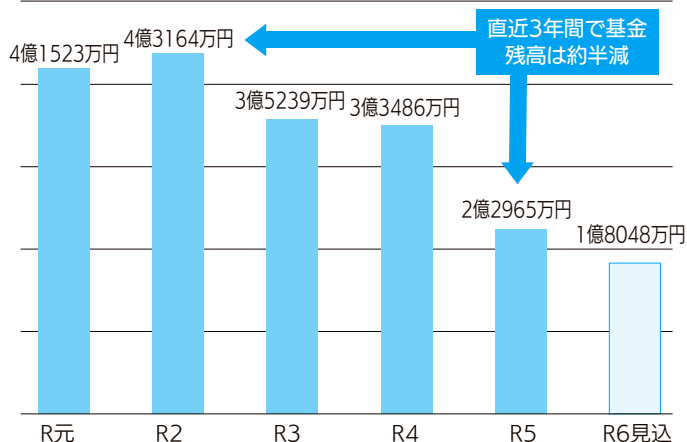
○国保会計実質単年度収支

千円以下切り捨て



○国保会計基金残高

千円以下切り捨て



モデルケース別影響額

1人世帯 (65歳以上)

年金収入: 120万円
年額=3500円引き上げ



2人世帯 (65歳以上)

夫: 年金収入 200万円
妻: 年金収入 60万円
年額=1万6200円引き上げ



4人世帯 (夫婦、小学生2人)

夫: 給与収入 400万円
年額=8万1200円引き上げ



【埼玉県が国民健康保険税水準の統一を目指す理由】

- 加入者の公平性の確保 県内どこに住んでいても、同じ世帯構成・所得なら同じ保険税
- 財政の安定化 ある市町村で起きた保険税の変動リスクを県内全市町村の加入者で分かち合う

問

国民健康保険の対象世帯数は。



福田 妙子
議員

滞納世帯数は。

差し押さえを行った世帯と単独財産差し押さえで特に多いものは。

答

2852世帯。

412世帯。14.45%。

86世帯、預貯金が多い。



税務会計課長

問

国民健康保険特別会計の基金残高は。基金を活用して保険税を据え置いたり、引き下げたりした場合、交付金への影響はあるか。



杉田 しのぶ
議員

未就学児に係る軽減対象の人数と金額、令和7年度に就学し、対象外となる人数は。

①未就学児②小学生③中学生④高校生までの国民健康保険加入者の人数は。

答

令和6年度末見込みで基金は約1億8千万円。
基金からの繰入れ分は影響ない。

令和5年度実績では軽減対象66人で73万306円。令和7年度軽減対象外となる人数は6人。

①73人 ②120人 ③74人 ④74人
合計341人。



町民健康課長



税務会計課長



子育て支援課長

問

県内統一を進めることについて、町はどのように受け止めているか。



秋山 真美
議員

保険税の軽減世帯数は。今後も同様の軽減策は行われるのか。

答

高額医療費が発生しても、保険税の変動が抑えられ、加入者減少が進む中でも国保財政の安定化が図られる。町国保運営委員会答申※も鑑み進める。

※令和9年度に予定されている保険税水準の準統一に向けて、被保険者の急激な負担増にならないよう事業基金を活用し、段階的に税率改定を行うものとする考えから、税率改定は適当。

令和6年12月末現在で7割軽減786世帯、5割軽減417世帯、2割軽減403世帯、合計1606世帯。全世帯数2768世帯のおよそ6割。今後も軽減策は行われる。



町民健康課長

反対



町民の暮らしを守れ

日本共産党 福田 妙子議員

最近、異常な物価上昇が続いている。町はこのような状況の中で、国民健康保険税の大幅な引き上げを実施しようとしている。その内容は、令和7年度の健康保険税の所得割が令和6年度の11.3%を12.6%に1.3%の値上げをしている。均等割一人4万6千円を6万円に、1万4千円で30.5%の値上げをしている。

一般会計からの繰り入れを行い、対応して欲しいとの声がある。町民の暮らしを守る立場から反対。

反対



基金活用で激変緩和を

杉田 しのぶ議員

子育て世帯には急激な負担増となるため、町独自で激変緩和措置を講じてほしかった。

未就学児から高校生まで保険税を据え置くと341万円。減免対象外の小学生から高校生の分を法定減免町負担分と同額減免すると211万4千円。これらの財源はペナルティーのない国民健康保険特別会計の基金を活用すれば、引き上げ幅は約半分に抑えられる。

物価高騰の中で、県が何も対策を講じないのなら、町で対応をという立場で反対。

主な歳入

(1万円未満切り捨て)

①企業版ふるさと納税寄附金	2800万円
⑤大串裏田地区ほ場整備事業	1050万円
○地方交付税	1億3170万円
○児童手当負担金	△1221万円
○物価高騰対応重点地方創生臨時交付金	△1億4254万円
○財政調整基金繰入金	1億1516万円

主な歳出

(1万円未満切り捨て)

②物価高騰対応重点支援事業 (令和6年度低所得世帯支援枠)	6519万円
③防犯対策推進事業	124万円
④学校給食事業	△514万円
○予防接種事業	3119万円
○減債基金管理事業	3363万円
○情報保守管理事業	△1365万円

問 1

企業版ふるさと納税額が増えている。背景と今後の見通しは。



福井 学
議員

答

地域活性化事業補助金制度を作ったことで、民間の提案事業に対する寄附が増えた。今後も民間の提案を募り、寄附を増やしたい。いただいた寄附を基金に積み立て、次年度以降の地域活性化事業に充てていく。



総合政策課長

問 2

物価高騰対応重点支援給付金の概要は。

答

令和6年度住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円給付、扶養する18歳以下の子どもがいる場合は1人当たり2万円を加算するもの。3万円給付を2000世帯、2万円給付を200人分見込んでいる。
対象世帯には4月上旬に振り込む予定。



長寿福祉課長

問 3

防犯灯設置費補助金の内訳は。



杉田 しのぶ
議員

答

新規設置に係るもので、物価高騰により上昇したことをふまえ約20基分の追加。

自治会管理の防犯灯のLED化率は。

3月1日現在、1124基に対し1040基、92.5%がLED移管済。

令和6年度の防犯灯の新規設置基数は。

35基。



自治財政課長

問 4

学校給食費、調理配送委託料の514万5千円の減額の理由は。



秋山 真美
議員

答

入札による執行残の分。



教育総務課長

問 5

県営ほ場整備事業(大串裏田)負担金、1050万円増額の理由は。



宮崎 雄一
議員

答

埼玉県が国の令和6年度補正予算を活用した事業の前倒し実施が決定したため。また、交付税措置率が有利な町債※も活用できることとなった。



産業振興課長

※90%充当30%交付税措置→100%充当50%交付税措置になった

議案17

令和7年度一般会計予算
予算総額87億7800万円

賛成
多数

反対



命と暮らしを守れ

日本共産党 福田 妙子議員

統合小学校の建設関係予算は55億8千万円とされている。令和7年度の予算に、統合小学校建設に係わる設計委託料、解体工事費等が含まれている。町民の意見は一つではない。さまざまな課題を解決し、安心な設定で進めるべきである。

また、国民健康保険税は一般会計から繰り入れて対応することを求める。命と暮らしを守る立場から反対である。

賛成



有利な地方債を活用

杉田 しのぶ議員

目玉となる主な新規事業は、統合小学校基本設計、中学校、町民体育館、B & G体育館の空調設置、放課後児童クラブの設計、带状疱疹ワクチンへの助成など町民のみなさんの意見を基に予算化されたもの。

令和7年度に借り入れる地方債は11億2640万円だが、交付税措置のある有利な地方債を活用するため、町の実質的な負担は約4億5700万円となり、約6億7千万円の負担が抑えられる。有利な制度があるうちに活用すべきとの立場で賛成。

反対



公平性を欠く予算だ

令和の会 宮崎 雄一議員

令和7年度予算は、87億7800万円、町債が11億2640万円。前年度と比較して8億9250万円で38.1%増。教育費は18億4694万円。8億5811万3千円で86.8%増。LED化工事6箇所、空調工事3箇所、2億2045万1千円。単年度でこれほど多くの工事が必要なのか。

町道舗装修繕工事は3路線で1660万円の1件のみで行政区の要望は到底かなうものではない。箱物に予算を傾注し過ぎる公平性を欠く予算である。

議案23

教育委員会教育長の
任命同意

賛成
多数



大野 陽康
議員

問

現行の教育委員会制度をどのように認識し、教育長の立場をどのようにとらえているか。

町長

答

議案の提出にあたっては、改正された趣旨に則り、任命の要件を満たしていると認識している。

任命同意の前に候補者が所信表明を行い、質疑を行う等、丁寧な手続きを経ることも議会の役割として求められるが、そのような場を設ける考えは。

所信表明にあたっては、議会の運営上の取り扱いであり、議会の判断するところである。

任命同意の判断として必要なのは、法令に規定されている資格要件を備えていることが分かる資料であり、資質・能力を十分にチェックするため。町長の見解は。

議会の会期や日程は、議会運営委員会で作られるもので、その中で要請があれば、日程に追加されるものと認識している。

人事

教育委員会教育長の任命同意

教育委員会教育長に
岡崎 康友 氏を
任命同意(新任)しました。

南吉見在住



議 案 審 議 結 果

町長提出議案

※(一)議長は採決に加わりません

議案番号	件 名	参照	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	秋山	尾崎	岩崎	宮崎	杉田	小宮	神田
議案第1号	比企広域公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第2号	吉見町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 職員の仕事と育児・介護を両立できる環境を整備するため	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第3号	吉見町一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 人事院勧告等に鑑み、一般職員の給与及び諸手当について改定	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第4号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第5号	吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 保険税水準の統一に向けた埼玉県との取り組みを踏まえ改定	P10・11	可決	●	●	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	—
議案第6号	吉見町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第7号	吉見町立小中学校設置条例の一部を改正する条例 東第一小学校、東第二小学校、南小学校、西小学校、北小学校及び西が丘小学校を統合し、新たに吉見町立吉見小学校を設置	P8・9	可決	●	●	×	●	●	×	退席	●	●	×	×	●	×	—
議案第8号	吉見町民会館設置及び管理条例の一部を改正する条例 使用料の減免・割り増し規定を定める	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第9号	道の駅いちごの里よしみの指定管理者の指定について	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第10号	町道路線の変更について 町道2609号線・大字田甲字登戸1149-1～登戸1173-2	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第11号	令和6年度吉見町一般会計補正予算(第5号) 78億8438万9千円(2835万6千円減額)	P12	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第12号	令和6年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 23億9336万円(1838万3千円増額)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第13号	令和6年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 2億9348万9千円(2307万円減額)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第14号	令和6年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第3号) 19億2980万千円(939万8千円増額)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第15号	令和6年度吉見町水道事業会計補正予算(第2号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第16号	令和6年度吉見町下水道事業会計補正予算(第4号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第17号	令和7年度吉見町一般会計予算 87億7800万円(前年度比19.1%増額)	P2～7・13	可決	●	●	×	●	●	×	●	●	●	×	×	●	×	—
議案第18号	令和7年度吉見町国民健康保険特別会計予算 23億7000万円(前年度比0.2%減額)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第19号	令和7年度吉見町後期高齢者医療特別会計予算 3億1100万円(前年度比0.6%減額)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第20号	令和7年度吉見町介護保険特別会計予算 18億8000万円(前年度比4.4%増額)	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第21号	令和7年度吉見町水道事業会計予算	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第22号	令和7年度吉見町下水道事業会計予算	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第23号	教育委員会教育長の任命同意について 大澤幸正氏の辞任に伴い、岡崎康友氏を任命	P13	同意	●	●	×	●	●	●	退席	●	●	●	●	●	●	—

議員提出議案(追加)

発議第1号	吉見町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の提出について	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
-------	--------------------------------------	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

町政に対する 一般質問

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。（持ち時間1人60分以内）

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を編集委員会で編集し、掲載しています。

1 福井 学 議員

P16

- 問1 不登校児童生徒に学びの保証を
その他の質問
車があると生活保護は利用できないのか



6 福田 妙子 議員

P18

- 問1 6校統合小学校を建築する教育と費用
問2 6校を廃校にした後の考えは
問3 学童保育
問4 給食センターのその後



2 吉田 克之 議員

P16

- 問1 水稻の高温対策とイネカメムシ対策
問2 下水道施設の安全対策



7 伊藤 えりか 議員

P19

- 問1 自主防災
問2 母子保健事業
問3 中学生の部活動



3 大野 陽康 議員

P17

- 問1 町が管理する公共施設とインフラ資産の現状
問2 教育施策に係るビジョン



8 秋山 真美 議員

P19

- 問1 下水道の維持管理および緊急時の対応
問2 防犯カメラの設置推進
その他の質問
ふるさと納税の推進
公共施設の太陽光発電施設



4 新井 寛雄 議員

P17

- 問1 小学校6校統合後の通学と教育、地域の合意は
問2 町の道路インフラ等の管理



9 杉田 しのぶ 議員

P20

- 問1 旧フレンドシップ・ハイツよしみ完成後の構成
その他の質問
大型公共事業に向けた財政プラン
ごみ減量（リユース）のさらなる取組



5 宮尾 美千代 議員

P18

- 問1 吉見百穴周辺の市野川沿いの桜
問2 お悔み窓口
その他の質問
若者の夢へのチャレンジを応援



スマホで
二次元バーコードをチェック
各議員の動画が見られます。





学校の対応は

【町の答え】
早期発見に努めている

ふくい まなぶ
» 福井 学 議員

どう 守る 不登校

問 町内で不登校は何名か。登校できない理由は。

答 令和6年2学期末で小学生8名、中学生31名。不登校の理由として小学校では無気力、家庭環境など複数の要因、中学校では人間関係、精神面での不安定、無気力、家庭環境などがあげられる。

問 どこまでを登校と認めているか。またその判断はどのような思いからか。

答 放課後に登校する、または保護者の車で学校へ来たものの校舎に入れず、車中で教員と会うことで登校と認める学校も。保護者や児童生徒は何とか学校へ行きたいと思っており、学校も気持ちを受けとめ、すべては子どものためと考え判断している。

問 不登校が疑われる事案を学校が認知してから、学校はどのように対応しているか。

答 個々のケースに応じて、早期発見、早期対応に努め、組織的に対応している。学校によっては週一回教育相談部会を開き、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが入り対応も。児童生徒が発するSOSのかすかなサインさえ見逃さないよう努めている。

問 教育長の見解は。

答 不登校は誰にでも起こり得る。教育委員会に課せられた最も大きい役目は不登校の未然防止。教師は子どもを見る観察眼、家庭と連携する力を磨きたい。不本意ながら不登校になってしまったら、関係機関と緊密に連携し、回復につなげたい。人生は長く、失敗は誰にでもある。そこから起き上がるからこそ重要だと、教育の中で訴え続けていきたい。



敏感な心 サポートが必要



水稻の高温・ イネカメムシ対策は

【町の答え】
農産物病虫害防除協議会で検討

よしだ かつゆき
» 吉田 克之 議員

水 稲 病 害 虫 対 策

問1 昨年¹の水稲栽培は、高温障害やイネカメムシによる斑点米被害が多く発生し、米の収穫量が減少して米不足による米価の高騰に拍車をかけた。

町の水稲被害と今後の対策は。

答 町では高温による水稲への影響が予想される場合は、認定農業者などに埼玉県が作成した技術対策をお知らせしている。

イネカメムシは、穂が出始める^{しゅっすいき}出穂期前後に産卵し、第二世代^{おくて}が出現して拡大するため、晩生と呼ばれる品種の被害が大きかった。

晩生で栽培された米粉用米は、前年度比の2/3程度、飼料用米は半数程度の収穫量となっており、イネカメムシの被害は大きいものと考えている。

町では次期作への対応について、吉見町農産物病虫害協議会で検討し、有効と考えられる対策を関係機関と協議していく。

問 病虫害防除は、広域的に一斉防除した方が効果的であり、補助制度を新設して取り組む考えは。

答 事業内容を精査し、有効に活用できる補助があれば利用したい。

問2 下水道施設の安全対策は。

答 1月28日に発生した八潮市の道路陥没事故は、硫化水素によりコンクリート製の下水道管が腐食したことが原因である可能性が指摘されている。

本町の下水道管の口径は、最大でも70cmで八潮市のものは、口径4m以上あり規模が異なるため、同様の事故が起こる可能性は低い。今後も適切な時期に点検し、適切な施設管理に努めていく。



イネカメムシと斑点米



公共施設と下水道 資産の現状は

【町の答え】現状を踏まえ
適切な管理に努める

おおの はるやす
≫大野 陽康 議員

公共施設・下水道

問1 1月に町民会館（フレサよしみ）開館20周年記念事業が開催され、多くの町民の方々の参加のもと、盛会のうちに終了した。町の公共施設である町民会館、町民体育館について、現状を踏まえ、稼働率を上げるために考えられる取組、手立ては。

答 町民会館では、魅力的な自主事業の実施、ホームページやSNSでの情報発信を進めていく。また町民体育館では、新たな利用者層を掘り起こすためにも各種スポーツ教室を通じて生涯スポーツの普及啓発に取り組んでいくことが大切と考える。

問 町で管理する下水道管について、老朽化や管の腐食等を要因とした事故発生の危惧はないか。

答 令和4年度に「吉見町公共下水道ストックマネジメント計画」に基づく点検、調査を行った結果、重度の危険があると判定された箇所はなかった。今後も適切な時期に点検を行い、必要に応じて修繕を行うなど、適切な施設管理に努めていく。

問 「吉見町議会の議決に付すべき重要な公の施設」に係る条例整備について現段階での状況は。

答 ゼロベースでの検討を全課局へ依頼している。吉見町公共施設個別施設計画等の進捗状況も考慮しながら、関係各課と協議を進めていく。

問2 教育施策に係るビジョンを推進するための具体的方策とその取組は。

答 教育大綱および教育行政の重点施策を作成し、さまざまな施策に取り組んでいる。生涯学習事業の充実と生涯学習施設の活用促進につなげ、学校教育活動、教育相談体制の充実を図っている。



町民体育館



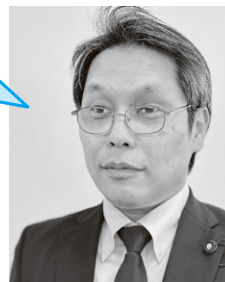
町民会館（フレサよしみ）

適切な管理のもと、公共施設・インフラ資産の整備・維持を

懸念される点について

【町の答え】
対策に努めていく

あらい ひろお
≫令和の会 新井 寛雄 議員



統合とインフラ

問1 小学校6校の統合に関し懸念される、スクールバスに関して、徒歩通学との境界目安は。

答 今後、準備委員会の総務部会で具体的な協議・検討を開始する予定。

問 スクールバスの運行概要は。

答 今後、利用する児童の安全を十分に考慮し、他の自治体の先進事例を調査、研究し検討していく。

問 かかる経費はどのくらいか。

答 今後検討していく。

問 すべての子どもたちの人権が守られ、誰一人取り残されない教育の充実を求める点から質問する。いじめや不登校などの問題を抱える児童はいないのか。

答 いじめ・不登校ともに複数を認知している。統合後は、今まで以上に小中学校で連携し、早期発見早期対応に努め、解消につながる教育活動を展開していく。

問 統合に関して地域の合意は取れているのか。

答 町全体に関わることでないと認識している。令和7年度から予定している中学校校舎等一部の解体工事前には、周辺の地域への説明会を開催する予定である。

問2 町が管理する道路、河川、水道、下水道の今後の対策はどうなっているか。

答 現場状況を確認し速やかに対応、安全管理に努めている。今後も道路や橋の各個別施設計画に基づき、計画的に修繕や更新を行い、町民生活に欠かすことのできない施設の老朽化対策に努めていく。



町における小学校の役割とは



市野川堤防沿いの桜の植替えは

【町の答え】
引き続き県と協議していく

≫ 公明党 宮尾 美千代 議員

市野川沿いの桜

問1 令和6年9月に質問した百穴周辺の市野川堤防沿いの桜について再度伺う。

答 百穴周辺の桜を楽しみに来訪していただく方も多い。どのような形であれば桜の植樹が出来るのか引き続き県と協議していく。

問 以前の答弁では周辺整備と合わせ計画的に取り組むとのことであったが、その計画はいつ、どのように計画し進める考えか。

答 現在、具体的な計画は策定していないが、植樹しても成長できる適地を決定し早急に取り組む。また桜のほか、河川管理に影響のない吉見百穴周辺に草花を植えることなども賑わいを創出するひとつの方法。吉見百穴周辺が魅力的な場所となるよう景観や維持管理なども考慮し取り組む。

問2 身近な方が亡くなった際、必要となるさまざまな手続きのワンストップサービス「おくやみコーナー」を設置している自治体が増えている。町でも設置する考えは。

答 現在、ご遺族の方々の気持ちに寄り添い負担や不安を軽減するため「おくやみワンストップサービス」を導入し、ご遺族がいつ手続きに来られても必要な案内ができるよう体制を整えている。

問 予約制の導入を。

答 予約制を導入することで、ご遺族の負担の軽減や手続きの漏れを防止し、事前に必要な準備ができる。書かない窓口とデジタル技術の活用による申請サポートとあわせ、お悔やみ窓口の設置や予約制導入について、今後前向きに検討する。



百穴周辺に新しい桜を

小・中学校 同じ敷地の理由は

【町の答え】
小中連携の取り組みをする

≫ 日本共産党 福田 妙子 議員



問1 統合小学校を中学の敷地に建設する理由は。

答 小中連携の取り組みをさらに進め、小中一貫教育制度を検討することから、中学校敷地内とした。

問 国の助成金と町の建設費の積算額は。

答 一般財源4.2億円、国庫支出金14.2億円、地方債37.4億円、合計55.8億円。

問 プールを壊して、代替施設をどうするのか。

答 現在の小学校のプール、B&G海洋センタープール、武蔵丘短大のプール、民間のプール等を検討している。現時点で、新たに設置する計画はない。

問 運動場を小中別々にすることは。

答 活動場所を分けることで、小中同時に使用することも可能と考えている。

問2 統合小学校建設後の避難場所は。

答 統合後も変わらず地震時は、全小学校の体育館を指定避難所と位置づけ、洪水時には、西小、西が丘小の体育館を指定避難所としていく。

問3 統合後の学童保育の活動を保障するには。

答 遊び庭等の設備を保育の実施場所として使用できるよう教育委員会、学校と協議していく。

問 武道館を解体した後の活動場所は。

答 機能移転先として、小学校体育館を基本とした代替施設の検討を進めている。

問4 民間委託後の給食センターの暑さ対策は。

答 以前から調理場は、扇風機やスポットクーラー等の活用をし、会議室は、エアコンが設置されている。

問 食缶洗浄のためのお湯が出ないが。

答 既に対応しているところであり連携し、取り組む。



よりよく働ける環境を

自主防災組織の活動支援を

【町の答え】

要請があれば積極的に職員を派遣

伊藤 えりか 議員



自主防災の支援

問1 自治会離れが広がっている昨今、町としてスーパーシティ・プロジェクトにも掲げている自主防災組織の活動支援として各自治会の背中を押す役割が必要と考える。各自治会でのDIG※（災害図上訓練）を広めていく事はできないか。

答 DIGは、地域防災力の強化につながる訓練であると認識しており、各行政区に対しDIGの目的や効果などを周知啓発すると共に地域で行う訓練などへ派遣要請等があれば、関係機関と連携を図り、積極的に関係職員を派遣していく。

問2 産後ケア事業で町民からの要望はあるか。

答 通所型と宿泊型のサービスがあれば、子どもを預けてゆっくり出来る時間が作れるので実施してほしい。出産を迎える方からは通所型の産後ケア事業に魅力を感じ、近隣での実施を知り、子育て世帯を応援している吉見町でも実施してほしいとのご意見がある。また、電話や乳幼児健診で保健センターを利用された方からも、通所型と宿泊型の産後ケア事業の導入を望む意見をいただいている。

問3 スポーツ少年団に加入している子どもたちが中学生になっても、競技を継続できる環境を整えることが理想。「吉見町地域クラブ活動推進協議会」では、どのような課題が上がっているか。

答 一部の部活動で先行し地域連携を行い、継続的に取り組めるよう協議を重ねている。使用する道具や施設の利用料金の負担はどうするのか、現在中学校に設置のない部活動について、指導者の質、量など、どう確保するかあげられている。

※DIG…地域住民自らが地図を使って防災対策を検討する訓練



町内下水道管の現状は

【町の答え】

管路の緊急点検を実施

公明党 秋山 真美 議員



下水道維持管理

問1 八潮市の道路陥没事故発生後、町の状況を心配する声を聞くが、町の下水道管の現状は。

答 公共下水道では、令和2年度「吉見町公共下水道ストックマネジメント計画」を策定している。腐食のおそれ大きい箇所のコンクリート製の下水道管を優先的に調査する計画で、令和4年度の調査では重度の危険があると判定された箇所はなかった。八潮市の事故をうけ、管路の緊急点検を実施した。

問 緊急点検実施をどのように町民に知らせたのか。

答 2月7日の町ホームページに掲載した。

問 ホームページだけでなくSNSの活用を。

答 正確でわかりやすい情報発信に努める。

問 地震や水害など災害発生時、被害状況が確認できるまでは、水の利用を控えることなど事前防災の1つとして住民への十分な周知が必要ではないか。汚水が逆流してしまう可能性を心配している。

答 職員が被災状況を速やかに調査し、使用を控える必要があるときは、お知らせする。住民の方には、いつもどおりトイレや台所の水が流れるか、汚水枳や配水管など確認し、異常がある場合は使用を控え、町の情報に注視してもらえよう啓発する。

問 簡易トイレや携帯トイレの備蓄の啓発を。

答 日頃からさまざまな災害に備えるため、各家庭にトイレも含めた防災備蓄の必要性を関係各課と連携していく。各種防災イベントや研修など、あらゆる機会をとらえ周知啓発に取り組む。

問2 防犯カメラの設置推進、補助金創設の考えは。

答 犯罪抑止など一定の効果はあるが考えていない。

町ホームページ（2月7日掲載）から一部抜粋

吉見町が管理する下水道および農業集落排水の管の最大口径は70cm、職員による緊急点検を実施し、異常がないことを確認しました。

【点検対象】 町内の幹線道路に埋設されている下水道および農業集落排水の管路 約23km

【点検実施状況】 路面およびマンホール蓋の目視点検



町民に喜ばれ 利用される施設に

【町の答え】

民間の創意工夫で魅力ある運営に

すぎた
▶ 杉田 しのぶ 議員

フレンドシップ

問 運営事業者を変更した理由は。

答 当初は温泉道場を予定していたが、フレンドシップ・ハイツよしみは、スポーツに特化した合宿施設をコンセプトとして再生整備工事を進めていたため、町の地域活性化企業人でもある同グループ企業の武蔵ヒートベアーズとしたいと申し出があった。

プロスポーツ球団が運営する宿泊施設としてメディアの注目度やPRもしやすくメリットが大きいこと、温泉道場もバックアップし、共に吉見町を盛り上げていきたいとのことから三者で本契約をした。

問 当初は令和7年春の大型連休オープン予定と説明を受けていたが、延期となった理由は。

答 コロナ禍の影響により約3年間休館していたため、リニューアルオープンを十分周知して、運営開始から多くの方にご利用いただけるよう環境を整え、設備等の稼働確認も慎重に行う必要があるため運営者と協議し、延期することにした。できる限り早くオープンできるよう運営者と調整していく。

問 ふるさと納税の返礼品にPay Pay商品券を追加すれば、フレンドシップでの宿泊、いちご狩りや百穴への観光、食事や買い物など町内での消費につなげることができる。導入の見解は。

答 商工会とも連携し、調査研究したい。

問 「再開して良かった」と町民に喜ばれ、利用してもらえる施設となるように、災害時の町民支援策や町民に喜ばれるイベント企画の考えは。

答 有事の際は連携した対応を契約で規定。民間の創意工夫で町民にも魅力ある運営を期待している。



フレンドシップロビー(イメージ)

1/23 比企郡町村会議 議員研修会

著作権・肖像権の侵害等の問題について

講師：埼玉弁護士会 法テラス川越法律事務所
弁護士 椎谷玲香 氏

参加者：議員全員

Q 著作権侵害をした場合、
どんなリスクがあるのか。

A 著作権侵害は民事責任、刑事責任等がある。
インターネットの発達、SNSの普及により著作権侵害、肖像権侵害を含むリスクが高まっています。
大丈夫かなと確認する意識が大切です。



議会広報研修に参加 「もうひと工夫を」



編集委員が2月14日、東京の全国町村議員会館で毎年開催される広報クリニックに参加し、住民目線で議会広報づくりを学びました。

議会広報は正確でありつつ、読みやすさが求められます。「よしみぎかい」を講評いただき「二次元コードを意識的に活用しており、情報の補完に努めている」と評価された一方、「表紙写真の説明が足りない」等、もうひと工夫欲しいと指摘を受けました。

今後改善して紙面に反映していきます。ご意見をお聞かせください。





クローズアップ よしみ

いちご狩り 持続可能な工夫を



町内でいちご狩りの観光農園を営む大嶋淳一さん（57）は、町外から4年前に移住して就農しました。「いちごをきちんと育てれば、いちごを買ってくださる方がたくさんいる。農業をなりわいとして生きるには、とても恵まれた環境だと思い、移住しました」

べにたまやあまりんなど、県独自品種を含む11種類が食べ放題とあって、現在では利用客で連日にぎわう人気農園になりました。「経営はようやく軌道に乗っています。この町でいちごを教えてくださいの方のおかげです」

しかし、一部の利用客の中には、実の先端をひと口だけ食べて残りを捨てる行為が見られ、心を痛めています。「いちご農家の間ではぜいたく食べと言われています。丹精込めて育てたいちごを残さず食べてもらえれば」。食べ残しを減らそうと利用客に食べ方を説明し、SNSでも精力的に発信しています。ひとえにいちご狩りが持続可能であって欲しいとの願いからです。

「お客様あってのいちご狩りですが、生産者の努力は無限ではありません。いちごで町がもっとにぎわっていくために、持続可能であるよう、工夫が必要では」。今後もいちごの里としてあり続けるには、考えていかねばならない課題です。

お腹いっぱいになってほしいー笑顔で食べましたー

経済的な理由などから家庭で食事を十分に摂ることができない、そんな子どもたちにお腹いっぱいになってもらいたいと、こども家庭センターで昼食の無償提供がありました。

この日午前、おもてなし料理「桜美」で調理されたお弁当は30食。正午前に同センターへ届けられ、子どもたちはテーブルを囲み、笑顔で食べました。同センターの利用には登録が必要で、今回の無償提供は支援が必要な子どもが対象です。

井口会長からの申し出を、町との連携につなげた町社会福祉協議会は、「物価高騰もあって、こうした支援はとてもありがたい。他にも申し出があれば対応したい」と話しています。



町議会を傍聴してみませんか

吉見町議会

5月臨時会

5月14日（水）に開催される予定です。

6月定例会

6月17日（火）から開催される予定です。

詳しいことは、町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024（ダイヤルイン）



ライブ配信は
コチラから

■傍聴人数

	3月 定例会	5月 臨時会	6月 定例会	9月 定例会	12月 定例会	12月 臨時会	合計
令和4年	17		15	16	14		62
令和5年	12	6	52	7	18	5	100
令和6年	32		19	9	19		79

吉見分署高規格救急車更新

比企広域市町村圏組合議会定例会

» 杉田しのぶ 議員

日時 令和7年2月12日（水）午前10時から
場所 東松山市議場
出席議員 神田隆 杉田しのぶ

付議された議案

- 議案第1号 専決処分 公平委員会委員に井上裕美氏を選任。
- 議案第2号 監査委員の選任 識見監査委員に梶田美佐子氏を引き続き選任。
- 議案第3号 公平委員会委員の選任 上原唯司氏を引き続き選任。
- 議案第4号 職員の勤務時間、休日および休暇に関する条例の一部を改正する条例 人事院規則の一部改正により改正。
- 議案第5号 一般職職員の給与に関する条例および一般職任期付職員の採用等に関する一部を改正する条例 人事院勧告および埼玉県人事委員会勧告に鑑み改正。
- 議案第6号 特殊勤務手当に関する条例の一部改正 緊急消防援助隊の特殊勤務手当の規定。
- 議案第7号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 法施行に伴い文言整理。
- 議案第8号 比企広域公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加および規約変更 川島桶川資源循環組合の加入および規約の変更

- 議案第9号 令和6年度一般会計補正予算
- 議案第10号 消防特別会計補正予算
- 議案第11号 介護認定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算
議案第9号から第11号までは、主に給与改定による人件費の増額補正。
- 議案第12号 公平委員会特別会計補正予算
令和元年からの審査請求事案の終結に伴い、審査に要した経費について当該団体から構成市町に返還するもの。（137万3千円）

会計名	予算総額	主な内容
一般会計	7250万円	人件費、広報紙発行機器類借上げ料
消防特別会計	36億300万円	人件費、本庁舎改修高坂分署新築工事
斎場および霊きょう自動車事業特別会計	2億1千万円	指定管理委託料火葬炉補修事業
介護認定および障害者支援区分審査会特別会計	7千万円	人件費、費用弁償審査会報酬
公平委員会特別会計	80万円	公平委員会運営事業



令和7年予算可決

北本地区衛生組合議会定例会

» 秋山 真美 議員

日時 令和7年2月7日（金）午前9時から
場所 北本地区衛生組合議会議場
出席議員 神田隆 尾崎豊 秋山真美

令和7年度の2市2町の負担金は、2億8000万円（前年同額）。吉見町の負担金は、6132万8千円。農業集落排水施設の改修に伴う汚泥搬入量の増で処理量割合が増加となったため、前年度と比較し、722万9千円の増額、13.4%増となっています。

令和6年1月から12月の処理量

組合全体	吉見町
27,411.55kℓ	6,440.69kℓ
前年比 428.45kℓ増量（1.6%増）	前年比 875.68kℓ増量（15.7%増）

付議された議案

- 議案第1号 令和7年度一般会計予算
予算総額 2億9820万円
- 議案第2号 議員報酬および費用弁償等に関する条例改正
- 議案第3号 管理者および副管理者の給与等に関する条例改正
- 議案第4号 職員の給与に関する条例改正
- 議案第5号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 議案第6号 令和6年度一般会計補正予算（第2号）
783万円を追加し、総額を3億3658万4千円に
- 議案第7号 個人情報の保護に関する条例の改正
すべての議案は原案のとおり、可決されました。

ひと

卓球で 全国制覇



～おめでとう～



昨年11月、兵庫県で行なわれた第61回全国ろう学校卓球大会の女子団体で、埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園が50年ぶりに全国制覇しました。高等部2名、中学部3名で挑んだチームの中に、吉見町出身の堀之内若葉さん（ほりのうち わかは）がいます。若葉さんは吉見町立西小学校に5年生まで通い、その後、坂戸ろう学園で卓球と出会いました。

——全国大会ではどんな経験がありましたか。

「ダブルスで意思疎通するとき、手話だと相手チームにわかってしまうので、相手に見えないよう、テーブルの下でサインを出すようにします。対戦後は、福井県や鳥取県の選手とお友達になって楽しかったです」

——ろう学校の大会ではどんな配慮がありますか。

「選手を呼び出す際のアナウンスを、大きなモニターに表示したり、審判の説明をボードに書いて指差ししてくれ

るのでやりやすかったです」

——今春からの進路は。

「坂戸ろう学園高等部へ進学して、卓球を続けます。春休みも部活に通いました。卒業した先輩を目標にして頑張ります。今年秋に開催されるデフリンピック東京大会を見るのがいまからとても楽しみです」

——手話や聴覚障害について、社会は理解が出てきたと感じることはありますか。

「コーヒーショップやコンビニなどで、簡単な手話を使って対応してくれることがあります。そんな時はとても嬉しいですよ」

表紙の写真を募集中!!



5点を選んで表紙に掲載しました。ざかいだよりに寄せられた意見のなかにも、今回のように組み写真として掲載すること

に人気がありました。これからも笑顔の写真を募集いたします。詳しくは上部の二次元コードをスマートフォンのカメラで読み取って、送信ください。お待ちしております。

編集後記

「はじめまして」の挨拶は、気のせいか、春によく使います。職場の異動や就職、学校では入学。初対面をとまなう環境変化は、期待だけでなく不安も伴います。体調を崩さないようご注意ください。今春、わが子のひとは高校へ、ひとは中学へ進みました。新たな環境で上手にやれるだろうか。親の不安は尽きませんね。

今号は町の予算を詳報しました。誰一人取り残さない理念のなかで、持続可能な住民サービスを目指す。そんな町政運営が続いています。暮らしやすいまちづくりのため、今後も皆さんの声を町へ届けてまいります。
(福井)

議会だより編集特別委員会

委員長	杉田しのぶ
副委員長	福井学
委員	吉田克之
委員	福田妙子
委員	伊藤えりか
相談役(副議長)	秋山真美

この議会だよりは再生紙を使用しています。